

教科目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気をつけて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現する態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

月	単元・題材名	時数	学習活動	評価規準及び評価方法
4	一 場面のようなすを思いうかべながら声に出して読もう ・すいせんのラッパ・どきん・夕日がせなかをおしてくる	1 2	場面の様子や人物の気持ちを想像し、読み方を工夫して音読する。	・作品から読みとった様子や気持ちが聞き手に伝わるように、工夫して音読しようとしている。(音読表・音読カード)
	二 国語じてんの使い方を 知ろう 言葉の広場	2 1	国語辞典の仕組みや使い方を理解する。	・国語辞典の仕組みと使い方を理解している。(観察)
5	三 自分をしようかいするスピーチをしよう。 ・知ってほしいな自分のこと しようたいじょうを書こう	8 4	自分について知らせたいことを選び、聞き手のことを考えてスピーチの仕方を工夫する。	・自分をよりよく知ってもらおうとしながら話したり、紹介したいことを順序を整理しながら書き出したりしている。(スピーチ・作文)
	四 形のかわる言葉に 気をつけよう 言葉の広場 ・自由作文	2 1 5	言葉の類別について知り、動詞や形容詞の活用について理解する。	・活用することばに興味を持ち、理解し文中で積極的に使おうとしている。(ノート・テスト)
	六 だんらくごとに内ようをとらえながら読もう ・自然のかくし絵 どちらがすき 漢字の組み立てと 意味を考えよう 言葉の広場 ・自由作文	1 2 4 2 1 4	段落ごとのまとまりに注意して、書かれていることを正しく読み取る。 共通する部分を持つ漢字があり、それらが意味の上でも共通性を持つことを理解する。	・段落ごとに、書かれている事柄を正確に読み取っている。(ノートまとめ・テスト・発表) ・漢字の組み立てに興味を持ち、部首や部首が表す意味についての知識を持っている。(ノート・テスト)
7	四 物語のあらすじを考えながら読もう ・ゆうすげ村の小さな 旅館 出来事をつたえよう	8 4	場面の展開を読み取って、物語のあらすじをまとめる。	・場面の展開や人物の気持ちを想像しながら、読み大切な点を落とさずに、分かりやすく物語のあらすじをまとめて書いている。(ノート・テスト)
9	五 中心をはっきりさせてせつ明しよう ・わたしのお気に入りの場所 ・自由作文	1 5 3	伝える中心となることを決め、工夫して紹介する。	・「お気に入りの場所」を紹介することに興味を持ち、進んで紹介しようとしている。(スピーチ・作文・テスト)
10	一 世界の民話を読もう ・木かげにごろり 想ぞうを広げて ・自由作文	1 5 3 5	民話のおもしろさを読み味わうとともに、いろいろな民話を紹介する。	いろいろな世界の民話を進んで読もうとしたり、積極的に紹介したりしようとしている。(読書カード・テスト)
11	二 いろいろなお祭りについて調べよう ・つな引きのお祭り 言葉の広場 ・自由作文	1 8 1 4	何が、どのように書かれているかに気をつけて文章を読み、地域の行事を調べて紹介する。	・文章の要点を押さえながら、内容を正しく読み取っている。(ノート・発表・テスト)
12	漢字の表す意味を考えよう	2	漢字が複数の意味を表すことを理解し、漢字の表す意味の違いについて整理する。	・漢字の多義性を理解し、漢字の意味を正しくとらえている。(テスト)
	三 つたえたいことはっきりさせて書こう ・「わたしの研究レポート」 を書こう 様子をくわしく表そう 言葉の広場	1 3 2 1	身近な暮らしの中から、自分が興味を持ったことについて調べ、記録文を書く。 修飾語を含む文の特徴を知り、様子を詳しく書き表す工夫をする。	・身近な暮らしの中から伝えたいことがはっきり分かるように事柄を収集・選択し、組み立てを考えて、メモやレポートを書いている。(記録文) ・修飾・被修飾の関係を理解し、文を詳しく書き表している。(ノート・テスト)
	四 よりよいくらしについて話し合おう ・もうどう犬の訓練 いろいろなつたえ方を 知ろう	1 6 1	書かれていることを段落ごとに読み取り、盲導犬について調べてわかったことを話し合う。 言葉に代わる伝達機能を理解し、身の回りにある伝える働きをするものについて考える。	・事柄の順序に注意しながら、内容を正しく読み取り、相手に自分の考えが分かるように、筋道を立てて紹介している。(発表・ノート・テスト) ・身の回りにある伝える働きをするものに興味を持ち、調べようとしている。(発表・ノート)
2	五 中心となる人物の気持ちを考えよう ・サーカスのライオン 「こそあど言葉」を 使い分けよう 言葉の広場 ・自由作文	1 7 2 1 3	物語の中心となる人物の気持ちを考えながら読み、いちばん強く心に残った場面を発表する。 指示語の働きについて理解する。	・物語の中心となる人物の気持ちの移り変わりを、出来事の流れにそって読み取り、読み取ったことを分かりやすくまとめている。(発表・ノート・テスト) ・指示語の働きについて知り、それが指し示す内容をつかんだり、文中で正しく使ったりしている。(テスト)
	六 想像したことを書こう ・「もしもの国」に行ってみよう	1 3	テーマに沿って、想像したことを工夫して文章に書き表す。	・設定から外れないように注意して、想像したことを文章に書いている。(作文)
合計授業時数				205時間

保護者の皆さまへ

教科書は東京書籍のものを使います。一度読まれて、どのような学習をしているか参考になさってください。家庭学習に音読練習や、漢字練習を取り入れたいと考えています。ご協力をお願いします。学習ノートは、縦書き12行・漢字練習帳は84字を使用します。鉛筆は、Bまたは2Bを用意してください。


